

# とやまの森のはたらき

富山県の約2/3を占める緑豊かなとやまの森は、様々な生き物の生息環境として優れているとともに、洪水や山崩れなど災害から私たちの暮らしを守っています。また、森から供給される豊富な水が飲料水や農業・工業用水として利用され、「富山湾」の豊かな水産資源を育み、県民の生活と産業を支えています。

### 水増強 緑のダム

森の土は裸地の3倍の水を蓄えます

雨水・雪解け水を蓄え供給のバランスを保ちます

キレイな水は森がつくる

土砂流出量を裸地の1/150に抑えます

### 災害防止 山や街を守り

土砂の流出や山の浸食を軽減し、災害から街や田畑を守ります

森はいろいろな生き物の棲みか

### 木が二酸化炭素を吸収してくれる

CO<sub>2</sub>削減 地球温暖化防止に貢献

1人あたりの年間排出を21本のタテヤマシギが吸収

### 木の家は「第二の森」といわれ環境にやさしい

自然素材 木材資源

木材は再生産可能で、環境にやさしい資源です

# 水と緑の森づくり税 Q & A

**Q1** なぜ、県民みんなが森づくり税を納めるのですか？

とやまの森は、木材生産だけでなく、水を貯える、二酸化炭素を吸収し、山崩れや洪水を防止するなど、私たちの生活に欠かさない大切な役割を果たしています。この森林からもたらされる多くの恵みは全ての県民が受けていることから、県民のみならず幅広く負担していただくことにしました。

**Q2** 子どもからお年寄りまでみんなが500円を納めるのですか？

個人県民税を納める方が対象になります。従って、個人県民税が非課税となる方(所得が無い未成年者など)には課税されません。

**Q4** どのようなことに使われるのですか？

水と緑の森づくり税で10の事業を進めています。ページをめくってみましょう。

**Q3** この税が森づくりとは関係のないことに使われていないか心配です

水と緑の森づくり税は、使いみちを明らかにするため「水と緑の森づくり基金」に入れて管理し、森づくりのために使います。また、評価委員会を設置し、毎年度、事業の取り組み結果について評価を行い、結果は県民の皆さまに公表します。

# 「水と緑の森づくり税」概要

**1 課税方式**  
個人及び法人等の県民税の均等割の税額に一定額を上乗せして納めていただきます。

**2 納税義務者**  
個人、法人等とも、県民税均等割の納税義務者と同一です。

**個人** 県内に住所等を有する個人  
**法人等** 県内に事務所、事業所等がある法人等

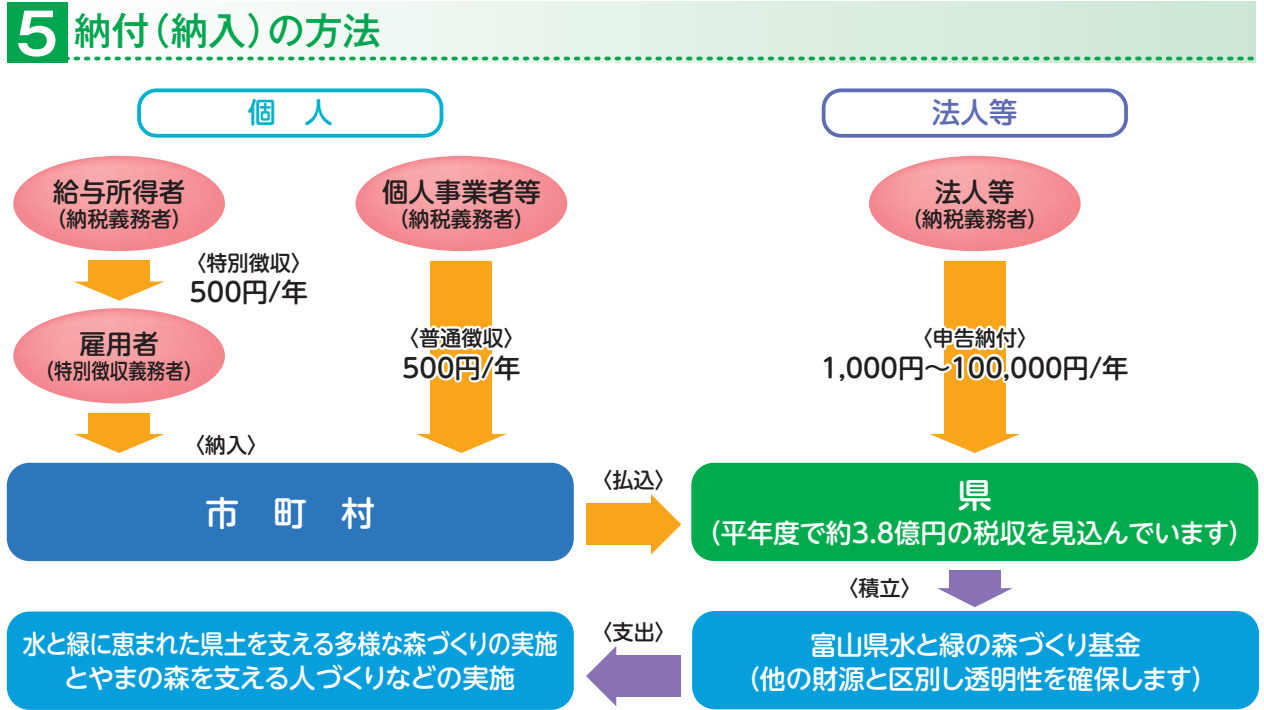
**3 税額**  
次の額を県民税均等割額に加算して、納めていただきます。

100億円超	年額 100,000円
50億円超～100億円以下	年額 80,000円
10億円超～50億円以下	年額 40,500円
1億円超～10億円以下	年額 6,500円
1千万円超～1億円以下	年額 2,500円
1千万円以下等の法人	年額 1,000円

**4 課税期間**  
5年毎に見直します。

**個人** 平成19年度分～平成33年度分  
**法人等** 平成19年4月1日～平成34年3月31日までの間に開始する事業年度分

**5 納付(納入)の方法**



お問い合わせ先

「水と緑の森づくり事業」に関するお問い合わせは  
農林水産部 森林政策課 森づくり推進班  
〒930-8501 富山市総曲輪1-7  
TEL: 076-444-3385 FAX: 076-444-4428  
HP: http://www.pref.toyama.jp/cms\_sec/1603/index.html

「水と緑の森づくり税」の仕組みに関するお問い合わせは  
経営管理部 税務課  
〒930-8501 富山市総曲輪1-7  
TEL: 076-444-3178 FAX: 076-444-3487  
HP: http://www.pref.toyama.jp/cms\_sec/1107/index.html



# 県民参加による「水と緑の森づくり」

とやまの森を守り、育てるために。



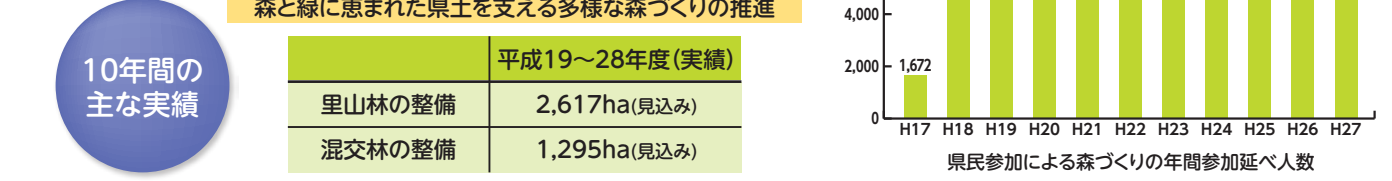
# 水と緑に恵まれた県土の形成と心豊かな県民生活の実現を目指して

## 「富山県森づくり条例」の制定と「水と緑の森づくり税」導入の背景

ツキノワグマの人里への異常出没や、カンノガキクイムシ被害の拡大、台風や大雪による大規模な人工林の被害を契機として、県では、県民全体でとやまの森を守り育てるため、「富山県森づくり条例」(平成18年6月)を制定し、この条例に基づき「水と緑の森づくり税」(平成19年4月～)を導入しました。

## 「水と緑の森づくり事業」の実施

水と緑の森づくり税を活用し、森づくりの基本計画である「富山県森づくりプラン」(平成19～28年)に沿って里山林や混交林の整備による多様な森づくり、森林ボランティアへの活動支援や森林環境教育などによる、とやまの森を支える人づくりを進めてきました。この結果、多くの県民の皆さんの参加と協力があり、森林の整備や、県民の森づくり活動の年間延べ人数が毎年1万人以上を超える等、着実に成果を上げました。



## 水と緑の森づくり税の延長と新たな「富山県森づくりプラン」の策定

「水と緑の森づくり税」は、平成19年4月の導入から10年目を迎えました。平成27年11月の県民アンケート調査では、条件付きを含め95%以上の方々に水と緑の森づくり税の延長に賛成をいただいたことから、「水と緑の森づくり税」の課税期間を平成33年度まで5年間延長することとなりました。また、新たな「富山県森づくりプラン」(平成29～38年度)を平成28年9月に策定しました。



## とやまの森の現状と課題

### クマなどの野生動物の出没

見通しが悪く林内が暗い里山

### 手入れ不足のスギ人工林

手入れの不足で過密となったスギ林

### 海岸林の松くい虫被害激増

松くい虫によるマツ枯れの状況

里山が利用されなくなり林内が暗くなると、クマなどの大型動物が人里近くに出没する恐れがあります。

人工林では、奥山の手入れ不足や竹林の侵入などにより、公益的機能(水源かん養、山地災害防止など)の低下が心配されます。

海岸林での松くい虫被害増加によって公益的機能(防風、防潮など)の低下や景観悪化が心配されます。(松の木を枯らすマツノマダラカミキリが他の木に運ぶことで被害が拡大)

# 水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進

# とやまの森を支える人づくりの推進

# 森林資源の循環利用の推進

### みどりの森再生事業

**整備実績** H19年度からH28年度(見込み)までに、1,295haを整備

奥地の人工林や、竹林が侵入した人工林などを、スギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を実施し、公益的機能の向上を図ります。

**目標** 混交林の整備 **500ha**(H29~H38)

**主な事業内容**

- 奥山の人工林や竹林が侵入した人工林などの伐採、整理、広葉樹植栽等また、伐採などの流出防止対策を実施
- 森づくりで使用する、県産広葉樹苗を県民協働で育成

過密人工林整理



### 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」普及推進事業

**整備実績** H24年度からH28年度(見込み)までに、約8.5万本を生産し、県内42haに植栽

森林資源の循環利用と花粉症対策の一環として、スギ人工林の伐採跡地に、本県が開発した優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及を進めます。

**目標** 「立山 森の輝き」植栽 **460ha**(H29~H38)

**主な事業内容**

- スギ人工林の伐採跡地における「立山 森の輝き」の植栽、保育を支援
- 「立山 森の輝き」の苗木の育成

スギ伐採跡地の植栽 植栽後の保育の支援



## 目指すべき森林の姿

(4つに区分して森林を守り育てています)

天然林を「里山林」と「保全林」、人工林を「生産林」と「混交林」に区分し、森林の状態や、地域ニーズ等を踏まえた、多様な森づくりを推進します。



## 「県民参加による森づくり」

森づくりを推進するにあたっては、計画、実行、評価、改善の各プロセスにおいて、幅広い県民の参加を得ながら進めます。

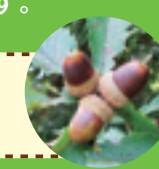
### 実のなる木の育成事業

**整備実績** H24年度からH28年度(見込み)までに、約5万本を植栽

カシノナガキクイムシの被害を受けた保全林で植栽した実のなる木を育成し、森林の公益的機能の確保や野生生物の生息環境の確保を図ります。

**主な事業内容**

- カシノナガキクイムシ被害跡地に植栽したミズナラやブナなどの実のなる木を育成



### 里山再生整備事業

**整備実績** H19年度からH28年度(見込み)までに、294地区2,617ha

地域や生活に密着した里山(海岸林含む)を再生するため、県民協働による里山林整備を推進します。

**目標** 里山林の整備 **2,000ha**(H29~H38)

**主な事業内容**

- 地域住民等による里山林の整備
- 流水災害等の要因となる危険木などの流出防止対策
- 里山林の維持管理・利用等を行う地区について活動の支援
- 里山林や主要道路沿線等のカシノナガキクイムシ等の森林病害虫による枯損木を除去

地域の里山林整備への支援

整備前 整備後

県民参加による里山整備 地域住民による伐採木を活用したきのこ栽培

●海岸林での重点的な松くい虫被害対策を実施

生活や富山湾の景観を守る海岸林 松くい虫による松枯れ



### とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業

**森づくりの年間参加延べ人数** H27年度の年間参加延べ人数11,718人


県民参加による森づくりを推進するため、森林ボランティア等を専門的・総合的に支援します。

**目標** 年間参加延べ人数 **13,000人**(H38)

**主な事業内容**

- ヘルメットやカマ、チェーンソーなど、森づくりの道具の貸出しや保険料を支援
- 継続的な森づくり活動のため、技術の習得などを学ぶ「森づくり塾」の開催
- 企業の森づくりの推進
- 森林ボランティアによる里山林整備を支援

ボランティアによる森づくり活動



ボランティア団体や企業の森づくり活動を積極的に支援

伐採木竹を処理するチェーンソーの貸出し 森づくりのための技術指導を実施




### とやまの森づくり総合情報システム事業

森づくりへの理解を深め、県民参加を推進するため、とやまの森の現状や森づくりに関する情報をわかりやすく提供します。

**主な事業内容**

- ホームページによる森づくり情報の提供

とやまの森づくり 検索



### 県民による森づくり提案事業


**事業実績** H28年度までに91団体が活動

県民の皆さんが自ら企画、実践する森づくり活動を募集し、その活動を支援します。また、水と緑の森づくり税を活用した事業のアイデアも募集しています。


**主な事業内容**

- 地域の課題等に応じた、自由な発想やアイデアをもとに実践する活動を支援

【ひみり山杉活用協議会】伐採体験見学会 【石田自治振興会】マツ枯れ跡地へのクロマツ植栽



【さらからネットワーク】伐採竹を活用した炭焼き



### とやまの森づくり普及啓発推進事業

**森の寺子屋参加延べ人数** H27年度までに 56,996人(853回開催)

森づくりへの理解を深め、県民参加を推進するため、「森の寺子屋」(出前講座や森林教室)を開催します。

**主な事業内容**

- 児童・生徒や一般県民を対象にフォレストリーダーによる「森の寺子屋」を開催
- 「とやま森林浴の森」を活用した「森の寺子屋」の開催

「森の寺子屋」による出前講座の開催 フォレストリーダーによる木工クラフト教室 「とやま森林浴の森」での森林教室の開催



### 県産材利用促進事業

**事業実績** H28年度までに公共建築物の木造化・内装木質化37施設を整備 **事業実績** H28年度までに「県産材こどもの城」23施設を設置

森づくりにつながる、公共施設等の木造化等や、県産材道具の導入支援などの木育の推進による、森林資源の循環利用を進めます。

**主な事業内容**

- 公共施設等の新築や改築等に伴う県産材利用(木造化、内装木質化、備品導入)を支援
- 園児等のデザインによる県産材大型遊具(屋外・屋内)の設置
- 県産材遊具・積木の保育所等への導入を支援

公共施設等の県産材利用による木造化、内装木質化 県産材を使ったこどもの城 保育所等への遊具の導入

県産材を利用した備品導入(机・椅子) 県産材遊具を用いた木育



### 水と緑の森づくり推進事業

県民全体で支える森づくりの推進と森づくりの計画、評価、改善を行います。また、森づくり事業の実施状況などを県民の皆さんにお知らせします。

**主な事業内容**

- 森づくりの推進について話し合う「富山県水と緑の森づくり会議」の開催
- 森づくり活動の成果や効果の評価

富山県水と緑の森づくり会議 各種イベントでのPR活動等

計画(Plan) 地域住民、森林所有者及び幅広い県民の計画作りへの参画と合意形成

評価・改善(Check・Action) 県民への情報提供と森づくりの評価と改善への県民意見の反映

実行(Do) 森林ボランティアや企業など幅広い県民参加

